

株式会社モスフードサービス

証券コード：8153



モスの株主通信

第53期 報告書

2024年4月1日～2025年3月31日



「MOSごと美術館」は、モスバーガーのお店などで障がいのある方の作品を楽しんでいただく取り組みです。この取り組みについて、詳しくはホームページをご覧ください。

<https://www.mos.jp/oc/mosgoto/>

「ヤギとねこ」西須 奈津子

(作者について)

これまでにたくさんの猫を描いている作者のお気に入りは黄色い目と三毛猫。気分が乗ってくると黄色い目の三毛猫が登場します。

社長 メッセージ



2025-2027年度中期経営計画が始動。 環境の変化に柔軟に適應しながら 新たな価値を生み出していきます。

代表取締役社長

中村 栄輔

Q

2024年度の経営成績について
お聞かせください。

A

個人消費の持ち直しやインバウンド需要の拡大によって、国内の外食需要は回復基調にあります。一方で、原材料やエネルギー価格の高止まりなどによって、依然として先行きは不透明な状況が続いています。このような環境の中、2024年度は「Challenge & Support」を中期スローガンとした中期経営計画の最終年度となり、多くの成果を上げることができました。

主力の国内モスバーガー事業は、既存店の売上高・客数・客単価がいずれも前期を上回るなど、概ね好調に推移しました。消費の二極化への対応として、商品価格帯のグラデーション化を推進し、レギュラー、

プレミアム、超プレミアムの価格帯のラインアップを充実させたことで、より幅広い顧客層の獲得につながりました。期末の国内店舗数は前期比8店舗増の1,321店舗となりました。また、収益性重視の意識徹底と販管費抑制に加え、在庫回転率向上による資金効率化、物流効率化による商品管理コスト抑制にも注力しました。

これらの結果、2024年度の連結経営成績は、売上高961億85百万円（前期比3.4%増）、営業利益52億23百万円（前期比24.8%増）、経常利益55億69百万円（前期比26.8%増）となり、親会社株主に帰属する当期純利益は31億50百万円（前期比22.4%増）となりました。期末配当につきましては、株主の皆様への利益還元をより一層充実させるため、前期末より1円増配し15円、通期では2円増配の30円といたしました。

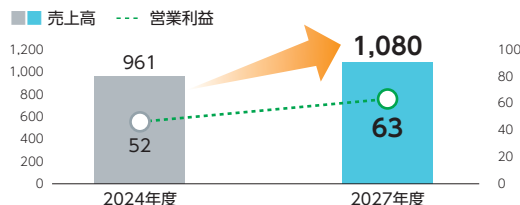


■ 2025-2027年度中期経営計画

2030年 モスグループのありたい姿	「心のやすらぎ」「ほのぼのとした暖かさ」を、世界の人々に」を実現し、 世界が目にする外食のアジアオンリーワン企業になる
中期スローガン	アントレプレナーシップ&イノベーション

連結業績目標 (単位:億円)

	2024年度実績	2027年度目標
売上高	961	1,080
営業利益	52	63
親会社株主に帰属する当期純利益	31	38
営業利益率	5.4%	5.8%
ROE	6.0%	6.6%



Q 各事業の取り組みについて お聞かせください。

A 国内モスバーガー事業では、マーケティング方針として「和ごころエンジョイ」を掲げ、お客様からの支持拡大と売上増に努めました。とくに好調だったのが新カテゴリーとして2024年3月に投入した「新とびきり」シリーズです。手軽に食べられるプレミアムバーガーという商品コンセプトが支持され、販売開始からわずか1年でシリーズ累計1,600万食を突破しました。このほか、「一頭買い 黒毛和牛バーガー〜山わさび醤油(しょうゆ)仕立て〜」においては、新たな顧客層へのアプローチを試みました。

モスブランドを活用した新たな事業の展開としては、公式オンラインショップ内で、海外の料理をヒントに開発したモスライスバーガーの新商品を発売するなど、商品ラインアップの充実を図っています。また、新たな販売チャネルの開拓に向けて、当社監修商品を他社の販売チャネルに乗せることにも挑戦しています。今後もこうした取り組みを拡大し、ブランド価値

の向上とともに、新たな収益源に育てていきたいと考えています。

海外事業については、セグメント利益の黒字化を達成しましたが、さらなる成長のため、現在、不採算店舗の閉店や既存店の改装、管理コストの抑制といった収益性改善に取り組んでいます。これらの取り組みにより、2024年12月末の海外店舗数は422店舗となっています。出店エリアはアジアを中心とした6つの国と地域です。

その他飲食事業においては、「カフェ山と海と太陽」と「MOSDO!」をそれぞれ関東に新規出店したことに加え、不採算店舗の整理や商品力の強化、サービス品質の向上を図り、収益力の改善に取り組みました。

Q 今後の事業計画について お聞かせください。

A 2022~2024年度の中期経営計画では、基幹事業である国内モスバーガー事業において、顧客との接点の質と量の徹底的な強化策として、積極

的な出店に取り組みました。その結果、長年減少傾向にあった店舗数を純増トレンドに転換し、この回復基調が奏功し、2年目以降の黒字転換につながりました。

これらの成果を踏まえ、中期スローガン「アントレプレナーシップ&イノベーション」を掲げ、2025～2027年度を対象とする新たな中期経営計画を策定しました。今後3年間で、環境変化に適応し、新しい提供価値を生み出し、浸透していくための期間と位置づけ、“「MOS BURGER」から、さまざまな価値を発信するブランド「MOS」に進化する”など2つの中期経営方針を掲げました。国内モスバーガー事業では、モスの提供価値を改めて見直し、3年間毎年、既存店売上高を5%成長させることを目指します。海外事業では前計画において構造改革がかなり進展したことを受け、今後は既存の出店エリアの立て直しなどにも取り組みます。また、グループ全体での取り組みとして、人的資本経営を推進し、未来に向けた適切な投資を大胆に実施していくことも盛り込みました。

連結業績目標として、最終年度の2027年度に売上高1,080億円、営業利益63億円、ROE6.6%などの達成を掲げました。計画初年度となる2025年度連結経営成績については、売上高970億円、営業利益52億50百万円と予想しています。

**モスバーガーが最も大切にしていることは
お客様の笑顔であり、
お客様の喜びこそがモスバーガーの原動力です。**

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A 私たちは今、少子高齢化の影響により、深刻な人手不足と国内市場の縮小という厳しい現実に直面しています。この困難な時代を乗り越え、モスバーガーのビジネスを永続させるためには、変革への挑戦が不可欠です。新たな中期経営計画のスローガンとして掲げた「アントレプレナーシップ&イノベーション」は、それぞれ「企業家精神」と「ビジネスモデルの改善・改良・改革」を意味します。この二つの力を最大限に引き出すことこそが、困難な時代を乗り越え、モスバーガーが創業以来大切にしてきた「感謝される仕事をしよう」という精神を、現代において実現するための道であると確信しています。

モスバーガーが最も大切にしていることはお客様の笑顔であり、お客様の喜びこそがモスバーガーの原動力です。そのために私たちは常に最高の品質とサービスを追求してきました。これからもこの気持ちを原点として、変化を恐れず、未来へと進んでまいります。

株主の皆様には、今後とも当社の事業活動に対するご支援とご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



モスバーガーのコラボレーション企画

モスバーガーならではの食へのこだわりや商品開発力を活かし、幅広い商品展開や販売チャネルの拡大を進めています。数量・期間限定で多様な企業とコラボし、さまざまなシーンでモスの多彩な食体験をお楽しみいただいています。



さまざまなイベントやキャンペーンの告知を掲載しています。

モスバーガー × 日清食品

「チキンラーメン」とモスチキンの投票キャンペーン※



2023年に大反響をいただいたモスチキンとチキンラーメンのコラボ企画。2024年は、11月29日の「いいにくいことをいう日」に合わせて、「モスチキンラーメン」と「モスチキンシェイク」のSNS対決キャンペーンやプレゼント企画を実施しました。

モスバーガー × ファミリーマート

「モスバーガー監修 チリドッグまん」※

2022年から始まった大好評のファミマコラボ。2024年は第3弾として、「チリドッグ」をイメージした中華まんを全国のファミリーマートで販売しました。



モスバーガー × Oisix

Kit Oisix「きのこチーズのWソースバーグ」※



2018年に期間限定で販売した「とびぎりハンバーグサンド（きのこ&チーズ）」を、Oisixのミールキット「Kit Oisix」向けにアレンジしました。ご家庭で手軽に本格的な味わいを楽しむことができる商品です。

モスバーガー × 静岡第一テレビ

テレビ番組『まるごと』とコラボで商品開発※

静岡第一テレビの番組『まるごと』との2019年から続くコラボ企画。7回目となる今年は、静岡県独自の味噌『相白味噌（あいじろみそ）』など、ご当地食材を使った商品を共同開発し、静岡県産食材の魅力を発信しました。



モスバーガー × TVアニメ『ONE PIECE』

2023年に続き大人気TVアニメ『ONE PIECE』と、モスチキンキャンペーンや福袋などさまざまなコラボレーションを期間限定で実施。コラボCMも放映し、年末年始を大きく盛り上げました。

①「モスチキン」キャンペーン※



②ONE PIECE コラボおもちゃ※



③コラボグッズ入り 「2025モス福袋」※



モスバーガー × たまごっち

初コラボ! 描き下ろしイラストのおもちゃ4種登場



お子様向けセット「モスワイワイセット」にて、1996年に初代が発売されたロングセラーのデジタルペット『たまごっち』とコラボレーションしたおもちゃをご提供。

※現在は販売・企画を終了しています（注釈のない商品・企画についても、販売状況が変わる場合がございます）。

国内モスバーガー事業の取り組み

「和ごころエンジョイ」商品が続々登場!

当チェーンでは、日本文化や日本食を楽しむ心を「和ごころ」と名付け、2024年度から商品のキャッチフレーズに「和ごころエンジョイ」を掲げています。手軽に食べられるプレミアムバーガーとして発売し、1年でシリーズ累計1,600万食を突破した“新とびきり”シリーズの新商品や、2024年秋に大好評をいただいた“熱々(あつあつ)ボール”の新作など、国産牛や日本各地の食材を活用した商品を展開しました。

国産の野菜と生姜で元気をチャージする春の新商品

「新とびきりトマト&レタス ～和風ジンジャーソース～」新発売※

モスの契約農家から仕入れたレタスとトマトの上に国産牛100%使用*1のパティを乗せた「新とびきりトマト&レタス ～和風ジンジャーソース～」を期間限定発売。生姜をベースにしたソースを合わせ、彩り豊かなたっぷりの生野菜とパティをバランス良く食べられる、新生活のパワーチャージにぴったりの商品です。同時に、肉本来のおいしさを存分に味わえるパティを2枚使用した“ダブル新とびきり”も発売しました。

*1 パティに含まれる牛肉は、100%国産です。



ツンと香る生姜! 形もそっくりのアロマが登場

商品の販売に合わせ、モスバーガー公式X (@mos_burger) にて、香りと形をリアルに再現したアロマディフューザー「トマトジンジャーアロマ」が抽選で当たるプレゼントキャンペーンを実施。意表を突く生姜の香りとユニークな形状が話題を呼びました。

“熱々(あつあつ)ボール”に 日本の春を味わう新作が登場!

「熱々(あつあつ)よもぎ ボール ～粒あん～」※

春のお花見シーズンにぴったりな新緑を想起させる“よもぎ”を使用。春の訪れを告げる食材であるよもぎをもちもち食感の生地に練りこみ、北海道産あずきから作ったほくほくの粒あんを包みました。まん丸な形と食べやすいサイズ感で、一口食べると香り豊かなよもぎとあずきの優しい甘さが広がります。



「モスバーガー&カフェ」限定スイーツが、 ついにモスバーガー店舗に!

「ふんわりスフレパンケーキ 〈メープルシロップ〉」※2

「モスバーガー&カフェ」店舗限定で2022年7月から2024年11月まで販売し、大変ご好評いただいた「ふんわりスフレパンケーキ〈メープルシロップ〉」を、モスバーガー店舗で販売開始しました。本商品の販売を通して、カフェタイムのさらなる強化を目指しています。

*2 店内飲食専用。15時以降に販売



島根県出雲市産の抹茶を使用した、 濃厚な抹茶を楽しめるシェイク

「まぜるシェイク 出雲(いずも)の抹茶」

2019年から定番商品として販売する日本各地の“抹茶”をソースに使用した「まぜるシェイク」。今回販売された「まぜるシェイク 出雲(いずも)の抹茶」は、明治40年の創業以来、出雲市を中心に茶葉の生産から製造販売まで一貫して行っている桃翠園が、本商品のためにオリジナルでブレンドした出雲抹茶をソースに使用しています。



*現在は販売・企画を終了しています(注釈のない商品・企画についても、販売状況が変わる場合がございます)。



現在販売中のメニュー情報は
モスバーガー公式サイトを
ぜひご覧ください。

その他飲食事業

モスバーガーとミスタードーナツのコラボ店舗「MOSDO!」 「MOSDOららぽーと新三郷店」オープン

モスバーガーとミスタードーナツの主力商品を同じ店舗で楽しめる『MOSDO!』が、埼玉県三郷市の「三井ショッピングパーク ららぽーと新三郷」内にオープン。店舗限定の新品「海鮮明太もんじゃ焼き風バーガー」や『MOSDO!』限定の「ドーナツセット」（ハンバーガー、ドーナツ、ドリンクのセット）を販売するなど、親子連れを中心としたファミリー層も楽しめる食事&カフェ空間をご提供します。



店舗限定商品
ピックアップ!



「海鮮明太もんじゃ焼き風バーガー」
東京の下町で生まれた「もんじゃ焼き」をモス流にアレンジした商品。海鮮かきあげに、もんじゃ焼き風の明太もんじゃソースをかけてパンズを合わせ、しっとりとした食感に仕上げました。



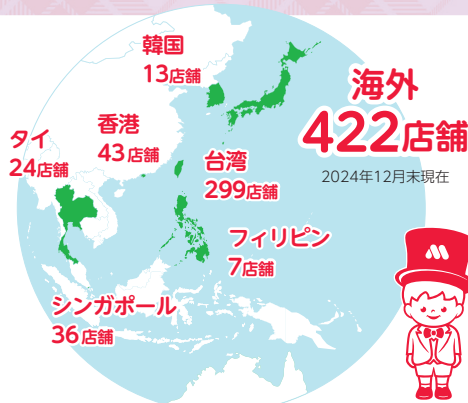
こだわりの玄米定食が気軽に楽しめる「玄米食堂あえん」 「玄米食堂あえん 川口駅前店」オープン

「日本のご馳走」をエキナカへ」をキーワードに、こだわりの玄米定食を提供する食堂タイプのレストラン「玄米食堂あえん」が、埼玉県川口市のJR川口駅直結の商業施設『キュポ・ラ専門店』にオープンしました。身体にやさしくおいしい玄米食を、普段使いのファミリー層やビジネスパーソンのほか、周辺にお住まいのシニア層など、健康志向のお客様にご提供します。

海外事業の取り組み

地域に根差した成長と 収益性改善への取り組み

海外事業では、日本の食文化を大切にしたい定番商品に加え、現地の嗜好を取り入れたローカライズ商品を販売するなど、地元の方にも愛される地域に根差した店舗展開を進めています。さらに、商圈の変化及び人流の変化に対応して、不採算店舗の閉店や既存店の改装、本社経費の抑制など収益性改善に取り組みました。こうしたマーケット精査に基づく選択と集中の結果、2024年12月末現在の店舗数は422店舗となりました。



LiMOS © 2022 MOS FOOD SERVICES, INC.

TOPICS

2024年

4月

ラジオ番組「MOSラジNACK5店」とのコラボ第2弾&初の関東限定ハンバーガー「ホットチキンバーガー」※

5月

モスバーガーの紙カップをイメージしたタンブラーが登場※

10月

店舗看板をリニューアル

新デザインでは、視認性の高いMマークと「MOS」だけの表示に変更します。2026年度末までに約1,000店の交換を完了する計画で、シンプルなデザインにより視認性とモスブランドの訴求力向上を目指します。



モス初となる三重パティの「トリプルモスバーガー」登場※

15時以降限定の「夜モス」メニューとして、パティが三枚重なったボリュームたっぷりの「トリプルモスバーガー」「トリプルモスチーズバーガー」を、秋の実りに感謝し名月を楽しむ「十三夜」の日に合わせてご提供しました。



2024年度の主なトピックスをご紹介します。



いつもたくさんのご来店、ありがとうございます！

8月

「モスバーガー」や「オニポテ」が普段使いできるアイテムに！「一番くじ」にモスバーガーが初登場※

7月

累計700万食以上を売り上げた人気商品が再登場！おかえり白モス！「白いモスバーガー」※

9月

野菜がゴロゴロ入った具沢山スープを4年ぶりに販売「ミネストローネ」※

6月

マザーリーフで濃厚なマンゴーをたっぷり味わう「マンゴーワッフル」販売※



11月

「新とびきりアボカド」※

ハレの日需要が高まる年末年始に合わせた“新とびきり”シリーズ。ダイスカットしたアボカドを贅沢に使用し、マヨネーズベースのクリーミーなオリジナルソースでさっぱりとした味わいのハンバーガーに仕上げました。



茨城県民の日記念

「Lucky Mos Festa ～秋のお客さま感謝祭～」※

茨城県民の日(11/13)を記念し、商品引換などができるハズレ無しのスクラッチカード企画を実施するとともに、特別限定商品「ぜいたくモスバーガー」「ぜいたくモスチーズバーガー」を5日間限定で販売しました。

「まぜるシェイク なめらかチョコソース ～ローストピスタチオ～」

「ゆず&レモンジンジャーエール ～アロエ入り～」※

冬にピッタリな濃厚シェイク「まぜるシェイク なめらかチョコソース ～ローストピスタチオ～」と、バーガー類との相性も良い爽やかな炭酸ドリンク「ゆず&レモンジンジャーエール ～アロエ入り～」を販売しました。



秋の定番スイーツ&スープを販売

秋冬の定番商品「おしるこ(粒あん)」*と「コーンスープ 北海道産コーン使用」を同時販売しました。



「一頭買い 黒毛和牛バーガー～山わさび醤油(しょうゆ)仕立て～」※

2024年のテーマ「和ごころエンジョイ」に基づき、国産の山わさびをソースに使用。また、新開発の専用プレミアムバンズは、フランスパンなどに使われる小麦粉を使用し、歯切れやくちどけが良くなるように仕上げました。



マザーリーフで冬の

「アフタヌーンティーセット」販売※

冬限定のいちごづくし「アフタヌーンティーセット」は、旬のいちごを贅沢に使った華やかなスイーツに加え、スコーン、セイボリーサラダ、たっぷりのドリンクもご用意し、大変ご好評をいただきました。



2025年

1月

「冬土用末(ひつじ)の日」に合わせて
熊本県産トマトを2枚使った
「新とびさきり」商品を限定販売*

「冬土用末の日」に食べると縁起の良い赤い食べ物にちなんで、熊本県産トマトを2枚使用した地域・期間限定商品「新とびさきり 大盛りトマト モス野菜チーズバーガー」「新とびさきり 大盛りトマト チリバーガー」を販売しました。

モスバーガー&カフェ店舗限定

「プレミアムスフレパンケーキ
バターで味わう ふわしゅわスフレ」を販売

モスバーガーのカフェタイプのお店「モスバーガー&カフェ」で、□どけの良い「ふわしゅわ」食感が楽しい、オリジナルのスフレパンケーキの販売を開始しました。そのうち1つは、ご自宅でもお楽しみいただけるテイクアウト限定の冷凍品としてご用意しています。



「明太チーズのとり竜田(たつた)バーガー
〜タルタル仕立て〜」
「和風旨(うま)だれのとり竜田(たつた)バーガー
〜くし切りレモン添え〜」*

明太風味のソースと南蛮タレのダブルソースを採用し、最後の一口まで飽きずに楽しめる一品に仕上げました。同時に「和風旨(うま)だれのとり竜田(たつた)バーガー 〜くし切りレモン添え〜」もリニューアル販売しました。



2月

節分に合わせて
「鬼盛りオニオンフライ」を
3日間限定販売*

辛みの少ないオニオンをサクサクに揚げ、甘みを感じられる人気サイドメニュー「オニオンフライ」。2月2日の節分に合わせ、ご家族でお楽しみいただけるよう、5個分を箱に詰め、単品購入よりお得な価格でご提供しました。



3月

3月12日は「モスの日」
大玉トマト麗夏(れいか)の
種をプレゼント*

モスバーガー店舗(実験店)がオープンした3月12日を「モスの日」に制定し、1997年より植物の栽培セットや種などをプレゼントしています。今年は、3月12日と13日の2日間、各店先着150名様に、トマトの花言葉「感謝」を込めて、大玉トマト「麗夏(れいか)」の種をお配りしました。



「あえん都内4店舗で長崎県・五島列島の
魅力を楽しめる春メニューを提供*

「あえん」では、日本各地の食材を季節ごとに活用することで、東京にいながらにして、各地の食文化をお楽しみいただく機会をご提供しています。今回の春メニューでは、五島列島から直送した天然魚のお造りや、福江島の農園で作られた安納芋の天ぷら、春野菜のサラダなどをご用意しました。



モスオンラインショップ
Life with MOS

「モス公式オンラインショップ〜Life with MOS〜」

ECサイトも
ぜひ
ご覧ください!



<https://ec.mos.jp>

11月29日の「いい肉の日」に合わせて販売
冷凍モスライスバーガーのスペシャルアソート
「モスライスバーガー4個セット(冷凍)」*

「いい肉の日」に合わせて、ECサイト限定商品である冷凍ライスバーガー〈焼肉、チーズ焼肉、韓国風ピリ辛ポーク、魯肉飯(ルーローハン)〉のセットをネットで受注し、モスバーガー店舗でお渡しする企画を実施しました。



お馴染みの中華料理をモス流にアレンジ
「モスライスバーガー〈回鍋肉(ホイコーロ)〉」

中華料理の定番・回鍋肉を、冷凍モスライスバーガーとしてアレンジ。甜麵醬の代わりにテリヤキソースで仕上げた、旨みとコクが自慢のモスライスバーガー専門店ならではの回鍋肉です。



*現在は販売・企画を終了しています(注釈のない商品・企画についても、販売状況が変わる場合がございます)。

モスグループのサステナビリティ



「モス SDGs アクション」とは

モスバーガーでは、持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に向けた取り組みを進めています。社会課題の解決につながる活動や施策を「モス SDGs アクション」と位置づけ、シンボルアイコンを通じて情報発信しています。

最近の主な取り組み

“MOS RECORDS” 初のアーティスト「Lui」デビュー。 第2回オーディションも開催



kitchen live

Lui「ひとりじゃない」

<https://www.youtube.com/watch?v=hPzbja-rOEW>



全国のモスバーガー店舗で働くスタッフを対象にした次世代アーティスト・クリエイターを発掘・応援・共創する“MOS RECORDS” (モスレコーズ) プロジェクトから、最優秀者「Lui」(ルイ) が楽曲「ひとりじゃない」で配信デビュー。モス本社のテストキッチンで舞台にした、オリジナルの音楽コンテンツ「kitchen live」にも出演しました。現在は、アート部門も新設された第2回オーディションを開催しています。新たな才能の発掘を通じて、スタッフの夢をモスバーガー全体でサポートします。

「全日本高等学校女子サッカー選手権大会」に初協賛！※

当社は、未来への希望を育む活動を応援するため、2024年12月に開催された「第33回全日本高等学校女子サッカー選手権大会」に初めて協賛しました。選手たちの活躍を応援するとともに、若い世代に当社をより身近に感じていただきたいと考えています。



カレーソースに能登豚を使用した産官学連携商品

「金沢カレーカツバーガー」を味わい、能登にエールを※

2024年10月、東京都板橋区と北陸3県(富山県、石川県、福井県)の計34店舗にて、能登の地震と大雨で被災された方々を応援することを目的に、「金沢カレーカツバーガー」を期間限定・数量限定で販売しました。商品1個につき20円を店舗とモスフードサービスが負担し、地震と大雨の災害義援金として寄付しました。

板橋区、日本薬科大学との産官学コラボ商品

「金沢カレーカツバーガー」は、板橋区、日本薬科大学との産官学連携商品です。当社は板橋区と「地域活性化等に関する包括連携協定」を締結しており、板橋区と「友好交流都市協定」を結ぶ金沢市をご紹介します。また、日本薬科大学の学生からは、商品や販売促進ツールについてのご意見をいただきました。



キッズニア東京「ハンバーガーショップ」パビリオン 「ソイテリヤキバーガー」作り体験が 好評につき再登場※

2024年12月1日～2025年1月13日に「キッズニア東京(KidZania Tokyo)」の「ハンバーガーショップ」パビリオンで、昨年度も好評だった大豆由来の植物性たんぱくを主原料にしたソイパティを使用した「ソイテリヤキバーガー」作り体験が再登場。体験を通じて、子どもたちに食の多様化を学んでいただきました。



社内公募による新規事業プロジェクトから誕生 熊本県八代市と長野県松川町の ふるさと納税返礼品を提供開始

当社では新しい事業として、2024年11月から熊本県八代市と長野県松川町のふるさと納税返礼品の提供を開始しました。これは新規事業の社内公募コンテスト「Challenging 01」から生まれた新規事業の初の具体的な事業化事例です。八代市には、生産者と共同で運営している農地所有適格法人「モスファーム熊本」があり、松川町とは林業振興の取り組みに賛同し、包括的地域協力協定を締結しています。取り組みを通じて、食品ロス削減や森林資源の有効活用といった、持続可能な社会の実現に貢献します。



熊本県
八代市 「モスバーガー厳選
規格外トマトのスパイシーチキンカレー」
モスの公式オンライン
ショップでも販売中

八代市産の風味豊かなトマトを使用したチキンカレー。味や風味は問題ないものの、熟れ過ぎやサイズが小さ過ぎるなどの理由で、モスバーガー店舗では使用できない規格外のトマトを活用しました。

長野県松川町
森を育てる
IDケース
間伐材使用



長野県松川町
森から生まれた
リルモスのピンバッジ
間伐材使用



沖縄県産モスのトマト祭り 『MOSごと美術館』企画と連携し、 支援学校の生徒の収穫体験も実施



2024年3月14日から23日までの10日間、沖縄県のモスバーガー店舗で「沖縄県産モスのトマト祭り」を開催しました。「JAおきなわ豊見城支店 トマト共選部会」で収穫されたトマトを、トマトを使うすべての商品に使用。期間限定商品やトマトそのものの販売も行いました。初日には店長やスタッフが「JAおきなわ豊見城支店 トマト共選部会」の農場で収穫を行いました。また、昨年に引き続き、那覇みらい支援学校に通う生徒とその保護者の皆様を収穫体験にご招待しました。生徒の皆様には、県内の店舗で2020年から実施している「MOSごと美術館」の企画に作品を提供していただいています。



『MOSごと美術館』とは

障がいのある方の社会参加支援を目的にアート作品を活用する取り組み。今回の株主通信の表紙デザインには、MOSごと美術館に参加している作家の作品から「ヤギとねこ」を採用させていただきました。

産地との主な取り組み(地域・期間限定商品)

モスバーガーでは、日本生まれのハンバーガーチェーンとして、日本各地の特色ある食材を活かした商品づくりを大切にしています。例えば、地域特産の果物を使った「まぜるシェイク」には、多様な地域食材を取り入れています。また、日頃よりご愛顧いただいているお客様への感謝として、地元で採れた県産野菜を使用した限定商品を販売する「モスの産直野菜フェスタ」や「モスの県産野菜フェスタ」を開催し、地域の魅力を発信しています。

福岡県産
いちご
まぜるシェイク
あまおう®



茨城県産・大分県産
レタス
新とびきり 大盛りレタス
テリヤキバーガー



栃木県産
いちご
まぜるシェイク いちご
～とちあいかソース使用～



鹿児島県産
さつまいも
おいもラテ
～鹿児島県産さつまいも～



沖縄県産
トマト
新とびきり 大盛りトマト
モス野菜チーズバーガー



モスフードサービス
企業サイト
サステナビリティ
ページ



環境、フードダイバーシティ、食育、店舗による地域貢献活動など10のカテゴリで記事を掲載しています。小さな社会活動がまるで木の実のように芽を出し、それらが集まることでやがて多様性のある大きな森に育っていくことをイメージして名づけました。



※現在は販売・企画を終了しています(注釈のない商品・企画についても、販売状況が変わる場合がございます)。

株主インフォメーション

株主優待制度

保有株式数などに応じて、全国のレストラン店舗※及びミスタードーナツ店舗（一部店舗除く）で利用できる株主優待券を、年2回ご提供。

※レストラン店舗：モスバーガー、モスプレミアム、モスド、マザーリーフ、カフェ 山と海と太陽、あえん、スタンドバイモス

発行月 6月、11月（予定）

対象基準 単元株（100株）以上の株式を保有している方が対象となります。6月発行分は、3月末日現在の株主名簿に登録されている方が対象です。11月発行分は、9月末日現在の株主名簿に登録されている方が対象です。

優待内容

保有株式数	継続保有3年未満株主	継続保有3年以上株主※ (長期保有株主優待制度対象)
100株以上 300株未満	年間2,000円分 (500円×2枚を年2回)	年間3,000円分 (500円×3枚を年2回)
300株以上 500株未満	年間6,000円分 (500円×6枚を年2回)	年間8,000円分 (500円×8枚を年2回)
500株以上 1,000株未満	年間10,000円分 (500円×10枚を年2回)	年間12,000円分 (500円×12枚を年2回)
1,000株以上	年間20,000円分 (500円×20枚を年2回)	年間22,000円分 (500円×22枚を年2回)

※毎年3月末日及び9月末日の当社株主名簿に同一株主番号で7回以上連続して記載又は記録され、かつ同期間の保有株式数が継続して100株以上である株主の方が対象です。

有効期限 6月発行分 翌年3月末日まで
11月発行分 翌年9月末日まで

株主様店舗イベントを東京&大阪で開催

株主の皆様とのエンゲージメント活動として、当社の役員及びメンバーが株主様と直接対話するイベントを2009年から実施しています。2024年度は、2025年1月17日にモスバーガー北浜店（大阪府）にて、2025年2月6日にモスプレミアム千駄ヶ谷店（東京都）にて、株主様向け店舗イベントを開催し、合計約80名の株主様にご参加いただきました。



株式についてのご案内

事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当金基準日 3月31日

中間配当金基準日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人、
特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
TEL 0120-232-711

郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場金融商品取引所 東京証券取引所

公告方法 電子公告による

公告掲載URL

<http://www.pronexus.co.jp/koukoku/8153/8153.html>

（ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告します。）

モスフードサービス 企業サイトをリニューアル

<https://www.mos.co.jp/company/>



2024年12月17日、モスフードサービス企業サイトがリニューアルしました。個人投資家の利便性向上を目指し、財務・業績の各種指標をカスタマイズ表示できるチャートジェネレーターを新たに導入したほか、取締役と監査役について写真と経歴を掲載しました。また「1分でわかるモスフードサービス」を新設し、会社の全体像を簡潔にまとめました。ぜひサイトをご覧ください。

